

令和6年度 羽曳野市の予算

総 額 842億9,416万円

一般会計 446億8,347万円

限られた財源とのバランスに配慮しながら、施策の選択と集中を図り、災害への備え、少子化・人口減少の克服に向けた子ども・子育て施策の充実や、地域の魅力発信など、未来につながる施策に重点を置いた予算編成となっています。

羽曳野市長 山入端 創

主なハード事業

道路整備事業 [6億7,323万円]

老朽化が進む道路について、順次改修等を進めます。また、令和6年度にあっては、都市計画道路八尾富田林線(羽曳野工区)の関連道路の整備や国道170号(大阪外環状線)西浦交差点部の改良に向けた工事を行うほか、引き続き恵我ノ荘駅前南側広場の整備に向け関係機関との協議を積極的に進めます。

重要給水施設へ至る配水管路耐震化更新事業[3億8,500万円]

地震発生時に病院や公共施設等へ安全で安定した水道水の供給を行うため、各施設に至る配水管路の耐震化更新工事を実施します。

第3認定こども園整備事業 [2億2,979万円]

既存の3つの幼稚園と1つの保育園を統合し、令和8年度の開園をめざす第3の認定こども園の整備工事を進めます。

学校給食にかかる整備 [5億4,104万円]

・学校給食センター等複合施設整備事業
青少年児童センターと一体的な整備を行う学校給食センターの新築移転に向けて、整備工事に着手します。
・中学校給食の全員喫食に向けた配膳室整備事業
中学校給食の全員喫食に向けて、各中学校・義務教育学校において配膳室の整備を順次進めます。

ドッグラン整備事業 [1,100万円]

人と動物の調和のとれた共生とともに、愛犬家の憩いや交流の場となるよう、峰塚公園内にドッグランの整備を進め、利用者サービスの向上や公園の活性化を図ります。

本庁舎建替整備事業 [2億6,304万円]

耐震性能や老朽化等の課題がある市役所本館について、防災拠点機能の充実、市民サービスの向上と歴史資産との調和をめざした新庁舎整備にかかる基本設計の策定等を実施します。

主なソフト事業

子育てにかかる経済的負担の軽減 [1億2,279万円]

・物価高騰に伴う保育園・こども園・学校給食費支援
保育園・認定こども園・市立学校における給食費について、食料費高騰分の公費支援を行います。
・保育料第2子以降無償化
0～2歳児の保育料について、第2子の半額を無償に拡充し、第2子以降を無償とします。

健診機会の拡充 [2,198万円]

・成人歯科健診の対象年齢を拡充
成人歯科健診の対象年齢に20歳、30歳を加えるとともに、歯周疾患が増加しやすい40歳代については、毎年受診できるように、健診機会の拡充を図ります。
・プレ特定健診の実施
生活習慣病の予防を目的とし、20歳から39歳までの国民健康保険加入者を対象としたプレ特定健診を実施します。
・5歳児健康診査(乳幼児フォロー健診に従事する小児神経専門医の参画)
乳幼児健診の対象に5歳児を加え、府内初の取り組みとして、小児神経専門医による健康診査を行い、子どもの成長や発達に対する適切な支援を図ります。

世界遺産登録5周年記念事業開催・大型木製はにわの保存処理 [502万円]

世界遺産登録5周年にあたりその価値や魅力を広く発信するため講演会等を開催します。また、「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産である峯ヶ塚古墳から出土した大型木製はにわの保存処理を実施します。

対話支援機(コミュニケーション)の導入 [74万円]

窓口対応や介護予防教室等において、市職員等の声を聞き手にクリアな状態で届けることができる対話支援機器を導入します。

犯罪被害者等見舞金 [110万円]

犯罪の被害にあわれた方やその遺族が受けた被害の軽減や回復を図るため、条例を制定し、犯罪被害者等見舞金を支給します。

コミュニティソーシャルワーカーの拡充 [2,391万円]

重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業に向け、地域で困っている人を支援するために、地域の人材や制度、サービス、住民の援助などを組み合わせ、新しい仕組みづくりのための調整やコーディネートを行うコミュニティソーシャルワーカーを増員します。

支援教育介助員の拡充 [1,763万円]

支援の必要な児童・生徒に対して、個々の状況に応じた適切な支援教育を実施するため、特別支援学級での担任の補助、日常生活上の介助等を行う支援教育介助員を増員します。

第1回定例市議会で可決承認された令和6年度当初予算

—羽曳野市の予算—

<一般会計>

福祉、教育、ごみ処理、道路などの一般的な事業を実施するための予算で、羽曳野市の事業の大部分を占めています。

<特別会計>

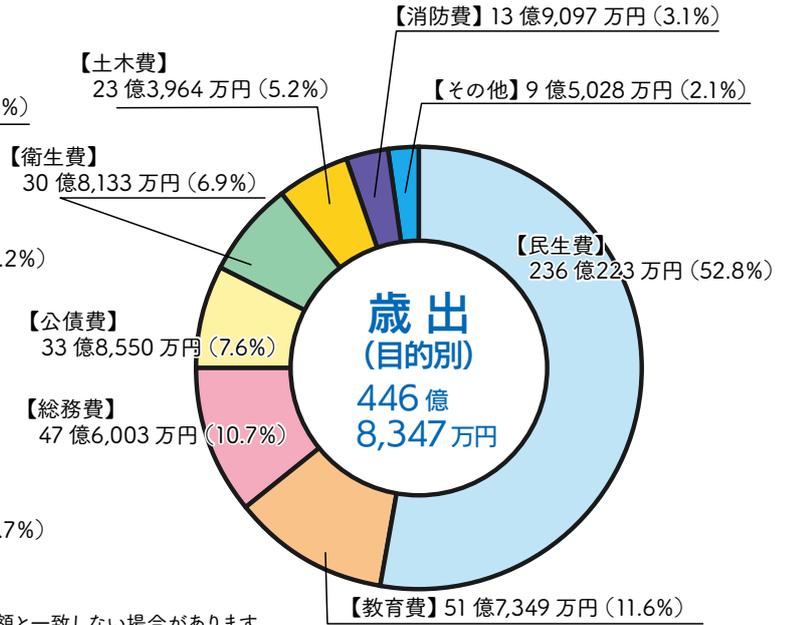
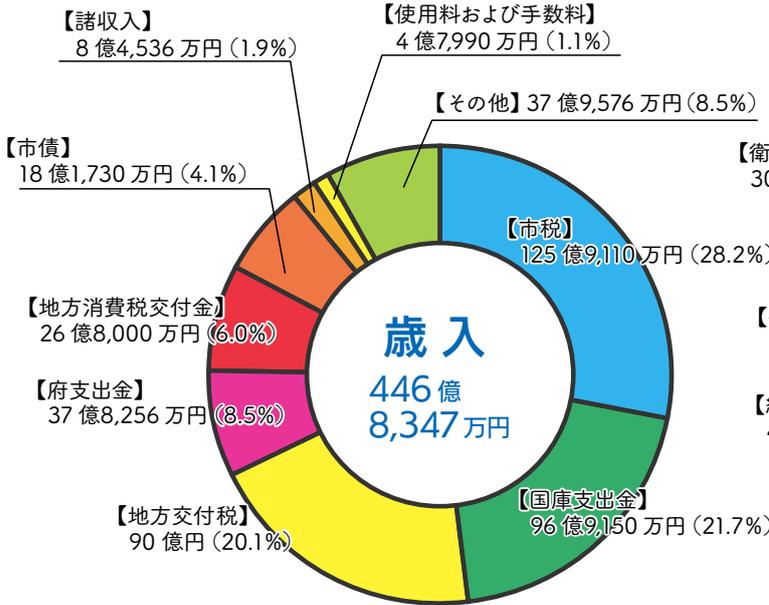
一般会計とは区別して特定の事業ごとに経理する予算で、羽曳野市には6つの特別会計があります。

会計名	令和6年度	令和5年度	伸び率
一般会計	446億8,347万円	448億1,714万円	-0.3%
国民健康保険特別会計	128億1,146万円	131億5,416万円	-2.6%
と畜場特別会計	1億5,861万円	1億5,421万円	2.9%
財産区特別会計	14億3,774万円	14億7,023万円	-2.2%
介護保険特別会計	120億2,806万円	116億1,274万円	3.6%
土地取得特別会計	6億1,348万円	5億9,977万円	2.3%
後期高齢者医療特別会計	22億9,801万円	20億8,619万円	10.2%
水道事業会計	35億5,684万円	45億5,440万円	-21.9%
下水道事業会計	67億647万円	67億7,492万円	-1.0%
総 額	842億9,416万円	852億2,375万円	-1.1%

※端数調整のため、各会計の合計値と総額の値は一致しないことがあります。
※下水道事業会計については、平成30年度より公営企業会計を適用しています。

歳入：一般会計の内訳

歳出：一般会計の内訳（目的別）



※構成比および金額は、端数処理の関係で合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

※令和6年度予算書は、ウェブサイトまたは情報公開コーナー（市役所本館1階）にてご覧になれます。
 ※ウェブサイトでは、市の財政状況を分かりやすく解説しています。詳しくはこちらをご覧ください⇒



【問合せ】 財政課 ☎ 072-958-1111 (内線 3562)

市勢要覧・暮らしの便利帳が 順次配布されます



令和6年1月に市制施行65周年を迎えたことを記念し「市制施行65周年記念市勢要覧」と市民サービスの向上と地域の活性化を目的とした「暮らしの便利帳」を合冊（総ページ数144ページ）のうえ発行し、市内の全世帯に個別配布します。

この冊子では、羽曳野市65年の歩みなどの市勢に関することや市の業務及び各種手続きなどの情報を掲載しています。

令和6年5月中に、各ご家庭にお届けしますので保存版として、ご家庭に常備していただきご活用ください。

発行は、公民連携事業の取り組みで、株式会社サイネックスに市が行政情報を提供し、印刷から配布までを同社が行います。

発行費用については、同社が広告販売を行うことにより、各団体及び事業者のみなさまからご協力をいただいています。

ご協力いただきました事業者のみなさま、ありがとうございました。

【問合せ】 秘書課広報担当